

高瀬みどりの少年団

広報 たかせ

第244号

令和7年9月1日

日田市高瀬公民館

館長 高田 義友

主事 荒倉 寿也

電話：24-2705

FAX：24-4075

大分県みどりの少年団のつどい

7月21日と22日、大分県主催「みどりの少年団のつどい」が、のつはる県民の森キャンプ場で行われました。

森林学習や飯盒炊飯、川遊び、夜のキャンプファイヤーなどに挑戦し、自然を満喫しました。他団体との交流もあり、初めてのテント泊に胸を躍らせ、子どもたちの姿も見られました。

夏休みを彩る思い出となりました。

みどりの少年団交流大会in北海道

～高瀬みどりの少年団 北海道へ～

7月29日から31日までの2泊3日、2025みどりの少年団交流大会が北海道で開催され、高瀬みどりの少年団から武内大悟さんと佐藤湊さんの2名が代表として参加しました。初日は、福岡空港から新千歳空港を経て札幌に到着。開会行事では「みどりの奨励賞」の授賞式が行われ、高瀬を含む8団体が表彰されました。その後、歴史資料館としてリノベーションされた旧北海道庁を見学し、夕食はサッポロビール園で名物のジンギスカンを味わいました。2日目は北海道大学で森林についての講義を受け、学内の森で森林保護の体験学習を実施。午後は少年自然の家でカレー作りを体験し、夜は星空観察を楽しみました。3日間の行程を終え、無事に日田へ帰着。自然や歴史に触れながら多くの学びを得る、充実した研修となりました。



初登山の5年生も
頑張りました。



九重合宿（ぐんじゅうごしやく）

8月18日から19日の1泊2日で、九重合宿を実施しました。団員13名が参加しました。初日は久住登山。雨の予報もありましたが、曇りの空で登山にはちょうど良い天気となりました。久住別荘でおにぎり弁当をいただき、山で食べるおにぎりの味は格別でした。食後は頂上を目指し、参加した団員全員が登頂に成功しました。予定より早く下山できたため、八丁原地熱発電所に立ち寄り、地熱発電について学習。その後、九重青少年の家に向かい宿泊しました。

ここまで来たら
行くしかねえかあ

こんなにキツイ
なんて…



2日目は九重
夢大吊橋を訪
れ、お土産を買
つたり景色を楽し
んだりしました
た。帰りのバス
の中では、達成
感と疲れからぐ
つすり眠る団員
の姿が見られま
した。今回の登
山にご支援いた
だいた皆さま
に、心より感謝
申し上げます。

夏休み学び塾 笑顔で終了



夏休み学び塾が10日間の
プログラムを終えました。
今年は4年生から6年生
までが参加し、課題に取り組
みました。
最終日には民生委員の皆さん
が作ったカレーを味わい、
笑顔で締めくくりました。
「集中できた」「分からない
ところが分かって良かった」
との声もありました。



【高瀬の歴史コラム】第8回「高瀬の古代5～古墳時代の時代区分について～」

昭和40年代の小中学校の教科書で授業を受けた私にとって、あらためて、この編修委員会で歴史の資料を調べてみると「古墳時代？ 大和時代は？ 飛鳥時代？」という疑問が湧きました。そこで、「そもそも大和時代とは・・・」を調べてみました。

諸説あるようですが、大まかには、大和政権(または、大和朝廷)が支配した時代ということから名づけられた時代区分とされていました。しかし、大和時代の始まりといわれていた4世紀～5世紀ごろは、まだ近畿地方の部族連合のヤマト王権の状態だったと考えられ、朝廷といえる政治体制はできていなかったという見方がされています。

それで、現在は、一般には4世紀～7世紀は古墳時代です。これは、考古学の観点からつけられた時代名だそうです。近畿地方に古墳ができたはじめた時期をもとにした名称です。

6世紀には、九州ではこの時代最大の反乱といわれる筑紫国造磐井の乱(八女)がおこり鎮圧されています。そして仏教伝来、仏教派の蘇我氏が物部氏を滅ぼすという出来事もありました。日田では、朝日天神山古墳にヤマト王権の傘下にあったと思われる前方後円墳がつくられ、高瀬では前方後円墳ではないもののこの時代の墳墓の特徴をもった惣田塚古墳(琴平町)がつくられています。

ちなみに、陣が原の稲荷神社に安置されている扁平石人は磐井の乱をおこした磐井氏の岩戸山古墳(八女市)にあったものを江戸時代に久留米藩主を通じて、最終的に日田に移されたものです。

また、7世紀は飛鳥時代という時代でもあり、この時期は大和政権確立に向かう中央集権国家への転換期です。この時代名は当時の都から名づけられています。もともとは美術史や建築史で使われていたものを日本史で使うようになりました。

この時代に活躍したのが、まず、聖徳太子(または、厩戸皇子)です。日本初の女帝推古天皇の摂政となり、冠位十二階、十七条憲法などを制定して国家体制の礎を築いています。その後、遣隋使の派遣も行っています。

次に、天智天皇です。白村江の戦で大敗し、大宰府防衛のための水城を造らせています。日本海側に防人も配置しました。さらに、蘇我氏体制を滅ぼした中大兄皇子、藤原鎌足。大化の改新を行った孝徳天皇など、皆さんも一度は聞いたことのある人物が活躍した時代です。

今回は、古墳時代の時代区分について調べました。最後にいくつか意見を紹介します。古墳時代の始まりについて「古墳の形はいろいろあるし、何をもちて古墳時代の始まりといえるのか」「始まりが箸墓古墳(前方後円墳)を卑弥呼の墓と推定したのが根拠とされているようだが根拠が薄い(邪馬台国近畿説ありきでは)」など。また、飛鳥時代については「古墳時代の一部ではないか」などがあります。確かに古墳時代はヤマト王権から大和政権に移行していった時代には間違いのないと思いますが、まだ全国に力が及んでいなかったのも確かです。

古代にあたるこの時代は、調べれば調べるほど曖昧な部分や時代区分の根拠となる多くの説や意見があり、新たな発見があれば大きく変わるかもしれないということもおおいに感じました。

私たち高瀬史編修委員会は、3ヶ月～4ヶ月で1つの時代を調査し、協議して公民館だよりに掲載させてもらっています。資料の読み違いや歴史認識の未熟さもあり、本流から外れた掲載内容となっているかも知れません。

ぜひ多くの皆様からのご意見ご感想をお待ちしています。また、前回もお知らせしましたが、興味のある時代だけでも参加していただける方は高瀬公民館までご連絡ください。また、毎年、日田市の埋蔵文化財センターの方に講師になってもらい研修会を行っています。県内外の現地に出かけて行って研修視察も行っています。

(文 高瀬史編修委員会 高田義友 / 資料・協力 日田市文化財保護課 高瀬公民館24-2705

